

## 実行委員長のあいさつ

米倉 愛実（立石中学校卒業）



皆さんこんにちは。この度成人式実行委員長を務めさせていただいております、米倉愛実です。しい時代、令和初の成人式という人生の通過点を無事に迎えることができましたのも、愛情深く大切に育てて下さった家族、時には優しく時には厳しくご指導下さいました先生方、いつも温かく見守って下さった地域の方々、そして、これまでたくさんのことを共有し、助け合い励まし合った仲間たち、多くの方々の支えがあったからこそであると、改めて感謝申し上げます。また、たくさんの友人や、お世話になった先生方とお会いすることができ、私自身、嬉しく、懐かしい気持ちでいっぱいです。

さて近年、豪雨、地震、台風などの自然災害によって、日本各地において多くの被害が発生しています。この小郡市や 近隣の市町村もたくさんの被害を受け、いつ どころで 何が 起こってもおかしくない状況になってきています。これまで地域に支えられてきた私たちもこれからは地域のために何ができるかを考え、行動を起こしていかなければなりません。

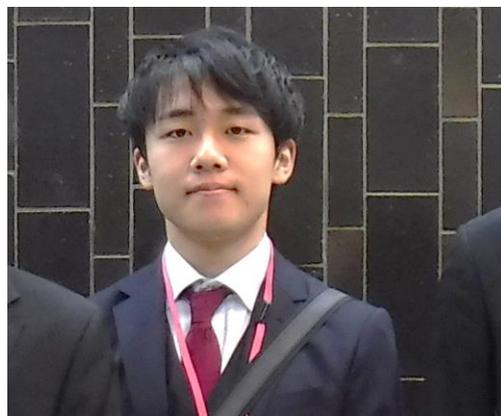
さらには、環境問題、人口減少や超高齢社会など、目まぐるしく変化する社会の中で、私たちが先頭に立って解決しなければならない問題が多くあります。厳しい環境であるかもしれませんが、今日のこの式を単なる二十歳の門出を祝うものだけではなく、大人としての自覚と責任を持つための式と考え、様々なことに積極的に関わりを持ち、社会に貢献できるよう、何事も前向きに挑戦していきたいと思えます。

私たち実行委員は、よりよい成人式を作り上げるために、昨年八月から市の職員の方々と協力しながら準備を進めて参りました。人生で一度きりの成人式である今日が皆様の思い出に残る素晴らしい式典になればと思っております。

最後になりましたが、成人式を開催するにあたり、市の職員の方々、成人式実行委員、事前準備、当日運営を手伝って下さった皆様、多くの方々にお力添えをいただき、このように盛大な成人式を迎えることができましたことを、深く感謝申し上げます。簡単ではございますが、以上で私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 副実行委員長のあいさつ

田中 宏祐（小郡中学校卒業）



皆さんこんにちは。成人式の副実行委員長を務めております、小郡中校区の田中宏祐と申します。さて、一生に一度のこの日がとうとうやってきました。成人式です。皆さん、というより私も含めてですが、本当におめでとうございます。きらきらとした晴れ着に身を包み、髪もお化粧もバッチリ決めて、待ちに待ったという感じでしょうか。同級生の仲間たちのたくさんの笑顔とともに今日という日を迎えられたことを、心から喜ばしく思います。

思い返せば、私たちが中学校を卒業したのは、もう5年前の春のことです。当時から何も変わっていないという人もいれば、ガラッと印象が変わった人もいるかもしれません。お互いの変化を楽しむのも今日の大事なポイントの一つですね。

これまで、あっという間だったと言えそうかもしれませんが、きっとそれぞれ思い出のたくさん詰まった時間を過ごしてきたことと思います。私個人の話をしめすと、高校時代は部活に打ち込んだり、修学旅行先のベトナムにて演歌を披露したりと、楽しい日々を送っていました。ベトナムの学生さんたちのあの温かい歓声と拍手は忘れることができない大切な思い出です。人生を振り返る、という少し大げさかもしれませんが、これまでに起きた出来事、出会った人々は数えきれないほどであり、そのすべてが今の私達を形作ってくれています。

そして現在、私たちは大きな節目の年を迎えました。20歳という年齢にさしかかり、大学にて勉強に励む人、社会に出て一生懸命働く人、夢に向かって努力し続ける人、既に歩む道のりは違う方向を向き始めています。きっとこれから様々な困難に直面し、時には辛い思いをすることもあるでしょう。しかし、そんなときには思い出しましょう。私達には、ともに生きる心強い仲間がこんなにいます。たまにはお酒でも飲みながら、一緒に乗り越えていきましょう。仲間の声援が、これからの人生において必ず背中を押してくれるはずです。20歳を新たなスタート地点として、それぞれの道に確かな一歩を踏み出すことができればと思います。

最後になりますが、この成人式に関わってくださった市の職員様、並びに関係者の皆様、このような素晴らしい式典を用意していただき、誠にありがとうございます。そして何より、今日まで支えてくださった保護者の皆様、おかげさまで健やかに成人式を迎えることができました。ありがとうございます。これからもお世話になりますが、どうぞよろしく申し上げます。

それでは、私達新成人のさらなる飛躍を願いまして、副実行委員長のあいさつとさせていただきます。

## 新成人代表のあいさつ

古賀 淳（大原中学校卒業）



皆さん、こんにちは。本日は成人を迎えました私たちのために、このような盛大な式典を催していただきまして誠にありがとうございます。また、お祝いや激励のお言葉をいただきました市長や多数のご来賓の方々にご臨席いただき、新成人を代表して心よりお礼申し上げます。こうして私たちが成人式という人生の大きな通過点を元気に迎えることができ大変うれしく思います。

私たちがこの日を無事に迎えることができたのは、市長、区長、来賓の方々をはじめ、今までたくさん愛情を注いで育ててくれた家族、ともに笑いあった友人、幼いころから温かく見守り支えてくださった先生や地域の皆様のおかげであることを深く感謝しご挨拶申し上げます。

私は今、教員を志し大学で勉強をする日々を送っています。私が教員を志すようになったのは、これまで私の成長を見守って下っていた先生方の影響によるものです。このように教師という職業は周りの人に影響を与えることのできる素晴らしい職業だと思っています。そのため私はこれからも勉強を頑張り、いい先生になれるよう努力していきたいと思います。

私たちの中には、私と同じように大学や専門学校で日々勉強し自分の目標に向かって頑張っている人がいます。また、すでに就職して毎日仕事に奮闘している人がいます。立場はそれぞれですが、ひとりひとりが自分の行動に責任を持ち、社会の一員として周りの人達と良い影響を与え合いながら、常に前向きに歩いていくことを誓います。

私たちは二十歳という人生の大きな節目を迎えましたが、社会人としてはまだまだ未熟です。社会人として先輩方を見習い、自覚、責任ある大人として認められるように自分を磨き、精進していきますのでどうかこれからも温かい目でご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、以上で新成人の代表のあいさつとさせていただきます。  
本日は誠にありがとうございました。

## 新成人代表のあいさつ

品川 久瑠実（三国中学校卒業）



皆さん、こんにちは。本日は私たちのために、このような盛大な式典を催していただきましたこと、心よりお礼申し上げます。また、市長をはじめ、来賓の方々、ご出席いただきました皆様には大変感謝しております。ありがとうございます。今日という良き日に、私たちは成人という人生の大きな節目を、こうして元気に迎えられたことを、大変嬉しく思っております。

今までの二十年間で、私たちは多くの人に出会い、よく泣き、よく笑い、様々なことを経験して参りました。その中で、当たり前のように受け取ってきた愛情も、当たり前ではなかったのだと、今更ながら実感しております。

これまで、家族をはじめ、先生方、友達など、色々な面で色々な方にお世話になってきましたが、恥ずかしくて、しっかりと感謝を伝えられない時もありました。しかしそのような自分では、この先成長できないと考え直しました。そこで、大切な気持ちは言葉にして、相手の顔を見て、きちんと伝えられる大人になりたいと、強く思っています。

私は今、幼いころからの夢であった警察官を目指して、法律について学んでおります。残りの二年間で、今以上に多くの知識をつけて卒業し晴れて立派な警察官になったときに、多方面から、地域に貢献したいと考えております。

私たちは、大学や専門学校で勉強に励み、自分の目標に向かって日々努力している人や既に職に就き、新しい環境の中で、懸命に頑張っている人など、それぞれが、様々な道を歩んでいます。

今日、久しぶりにそんな仲間たちと再会して、五年以上も前の思い出話に花が咲き、そして、現在のそれぞれの活躍を多く耳にしました。それが私自身、とても嬉しく、これからの日々への活力となりました。

今日は、令和になって初めての成人式であり、私たちは令和最初の新成人です。これからの社会を、そして新しい時代を担っていく人間の一人として、悩んだり、失敗しながらも、少しずつ確実に成長して何事にも挑戦していきたいです。

最後に、先の長い人生を、やさしく力強く生きていくことを誓い、成人式代表の挨拶とさせていただきます。